

(様式1)

自己評価票

作成日 平成29年5月26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0874300676		
法人名	特定非営利活動法人福祉サポートセンター県西さわやか		
事業所名	グループホーム県西さわやか	ユニット名	
所在地	〒306-0433 茨城県猿島郡境町1762-1		
自己評価作成日	平成28年12月29日	評価結果 市町村受理日	平成30年5月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2011_022_kihon=true&JigyosyoCd=0874300676-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成29年2月16日	評価機関 決済日	平成29年5月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・毎年家族会を開催し、家族同士での食事や交流の場を設けたり、ボランティア様の演芸を一緒に楽しめるようにしております。・これまでの生活を継続できるように、出来ることは自分で行えるよう見守り、支援をしています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>管理者が家族の介護経験から、「安心して穏やかに地域で暮らせるように」との強い思いに基づき、設立された事業所である。</p> <p>職員は利用者の意向にそえるよう、チームワークで日々ケアの工夫に努めている。</p> <p>ほぼ毎週事業所を開放して、利用者と一緒にカラオケを楽しんでいる。</p> <p>庭には木々などが植えられており、四季折々の楽しみ方ができる。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「潜在能力を活性化させ、自立した生活が送れるよう援助する」を理念の一つに掲げ、管理者と職員は理念を共有して実践に努めております。	職員で考えた理念が玄関に掲示してあり、夕方1時間のミーティングで唱和、確認している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の散歩や、夏の地域のお祭りなどを見学したりし、近隣の方との交流を図っております。また、事業所の一部を開放してカラオケを行うなどし、気楽に立ち寄ってもらえる雰囲気づくりをしています。	事業所は自治会に加入し、花火大会や盆踊りの見学に行き、その際出たゴミなどを片付けている。 職員付き添いで散歩出ると、近所の方と挨拶を交わしたり、農家の人からの声かけで野菜などをおすそ分けして貰っている。 週3回地域の方にカラオケ練習のためにフロアを開放して交流を図ったり、踊りのボランティアを受け入れたりしている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の行事には利用者と職員とともに参加し、ご近所の方々に理解していただけるように働きかけている。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一回開催しております。町職員、区長、社協職員、理事、ボランティア、地域住民、利用者家族に参加してもらい報告や意見交換を行っています。	町職員や民生委員、管理者、職員が参加して行事や利用者の状況、事業所の取り組みなどを報告しているが、管理者の体調不良により年4回開催するに留まっている。 利用者や家族等の参加が得られず、委員からの意見も出ていない。	管理者が参加できなくても、事業所関係者の参加により年6回以上開催することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	推進会議には毎回役場介護福祉課職員に出席していただいたり、困ったことがあれば親身に電話等で相談に乗っていただいています。	要介護更新申請時等に町役場の窓口を訪問したり、利用者の受け入れ相談が市担当者からあり、随時対応している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を行わないことを契約書等に記載し、管理者や全職員も身体拘束の内容とその弊害を理解しております。	玄関を出ると直ぐに道路のため、危険防止から日中も概ね施錠しているが、施錠解除するボタンが低い位置に設置されているため、誰でも解除できるので、職員は気を配り利用者が外に出たい場合は声かけし、一緒に散歩や庭掃除等に出ている。 身体拘束に関するマニュアルはなく、同意書や経過観察記録等の書類の整備や研修を実施するまでには至っていない。	マニュアルを作成したり、研修を行うなど、身体拘束排除に向けての取り組みを行うことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は虐待等が無いよう、お互いに注意を払い防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用や支援はまだありませんが、権利擁護と成年後見制度については理解しております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に必ず説明等を十分にし、理解をして契約していただいております。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からは日々の生活の中での会話を通して、家族からは来訪時などに意見や要望を聞きスタッフミーティングなどで話し合い運営に反映しています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一回スタッフの全体ミーティングを行い、皆で意見を出したり、ミーティングノートに記録し管理者に伝えて反映しております。	管理者は日頃から話しやすい雰囲気作りをして、職員からの意見を聴くようにして、職員のアイデアを取り入れている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社員の意見はよく聞き、給与や労働時間に関しても向上心を持って働けるように努めております。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修に行きやすい環境にし、職員のスキルアップを図っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている			
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が不安に思っていること、要望等はできる限り耳を傾け安心していただけるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思いをしっかりと聞き、十分信頼関係を築ける様努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時求めていることを見極め、利用者と家族が安心できるように努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	アットホームな雰囲気の中、良い関係を築けています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が面会に来た際は、職員やご本人と共に近況報告をしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	買い物に出かけたり、いつでも友人・知人が来られる環境を設け趣味や好きなことができるように支援しています。	日々の生活の中での会話や関わりなどから、利用者の馴染みの関係を把握するようにしている。 面会者にはお茶を出しているほか、馴染みの美容室の美容師が月2回来訪したり、自宅へ外泊をしに行くなど、以前からの関係が継続できるような支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の相性を考え、食堂の席や体操・レクリエーションの椅子の位置にも気を配っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	対処した方が時々顔を見せに来てくれたり、野菜を持ってきてくれたりしますが、その際はいろいろとお話を伺いフォローしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の居室担当者を一人一人決めて、馴染みの関係を築くことによって本人の意向の把握に努めています。	利用者の思いや希望は、表情や仕草から読み取るように努めている。 把握したことは個人記録に記録し、職員会議等で周知するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際には、前担当のケアマネジャーから情報をもらい、初期対応に役立てています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事・水分の摂取量・排泄回数を記録したり、日々のバイタルチェック、月初めの体重測定を行い状態の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、家族の意見を取り入れながら職員のアイデアを加え介護計画を作っている。	介護計画は基本1年で見直しを行っている。 家族等が毎月の利用料金支払い時に来訪した際や面会時に意見を聴くようにして、介護計画に反映するように努めている。	介護計画を作成する上で、利用者や家族等の意見や要望を聴き、反映することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、夜勤記録を用いて時間ごとに記録して情報を共有したり、日々の変化を具体的に個人経過記録に記入している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要な時は病院等の付き添いも行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の神社や公園等の散策をしたり、地域のお祭りや老人会との交流もあります。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけの病院に職員が付き添い、定期的に受診しています。	利用者や家族等には契約時に希望するかかりつけ医への受診が可能であることを説明している。受診の付き添いは基本的に職員が行っている。家族等へは電話や来訪時に、変化があったことのみ報告をし、職員間では個人記録に記載して周知するようにしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は、職員が交代で面会に伺っています。担当医やソーシャルワーカーさんにも直接お話を伺い、情報交換をしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合には、適切にほかの施設等を紹介したり、ご家族の意見を伺って支援しています。	看取りを行わない事業所であり、過去に重度化や看取りの状態になった利用者がいないため、マニュアル作成を行っておらず、今後もその必要性はないと考えている。 緊急時には消防や病院と連携をとり救急医療が受けられるようにしている旨を契約書に明記している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを文書にして職員がわかるようにしています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回避難訓練を行い、その際には消防署の方の指導を仰いでおります。地域の方々にも声を掛け、参加していただいています。	日中の消火訓練は行っているが、年2回以上行うには至っていない。 記録は残されているが、反省点や課題を残すまでには至っていない。 備蓄倉庫には米や水、食料品や懐中電灯等が置かれているが、入りきらないものは近くの管理者の自宅に保管してある。備蓄品の一覧表を作成して管理するまでには至っていない。	火災以外の想定を含む避難訓練を年2回以上行い、反省点や課題を明らかにし、次回につなげるとともに、備蓄品を保管場所ごとに一覧表を作成して管理することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お一人お一人の人格を尊重し、丁寧に分かりやすい言葉かけを心がけています。	利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけに配慮している。 個人情報に関する同意書を作成し、家族等から同意を得ている。 個人情報の書類等は鍵のかかる書棚に保管している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	話しやすい雰囲気づくりに努め、入居者と職員がコミュニケーションをとることによりご本人の思いや希望に沿うようにしています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課をやるにあたって声をかけた際、無理強いをせず本人の希望を聞き、その要望等に沿うように配慮しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に1度、床屋さんに出向いていただき散髪を行っております。希望する方には、ヘアダイの支援もしています。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	普通食、刻み食、おかゆや食事の量など一人一人に合わせ対応しています。また、片づけやテーブル拭きなどもできる方にはお手伝いしていただいています。	職員が献立をたて、食事を作っている。現在のところ利用者に偏食等がないため、特別配慮しながら献立をたてることや、代替食を提供することはない。 食事の前に、カラオケの得意な利用者が歌をうたいたすと、他の利用者も一緒に盛り上げ、食事前の日課となっている。 職員は見守りをしながら一緒に食事を摂っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量などを記録し、一人一人に合わせた支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事のあとは必ず、口腔ケアに誘導しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	時間ごとに定期的に誘導して、失敗を少なくするよう支援している。	職員は個人記録により、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、排泄時のサインを見逃さずにトイレ誘導をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の記録をして、便通の把握に努めており、それをもとに水分摂取や食事内容、運動などの工夫により予防に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週3回の入浴日には、入浴する順番等利用者の希望に沿い、気持ちよく利用できるように努めています。	入浴は週3回、午前中を基本としているが、利用者の希望によってはいつでも対応できるようになっている。 入浴を拒む利用者には、時間や声をかける職員を変えたり、清拭や足浴で対応するなどしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間を特に定めず、本人のリズムに合わせています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬の目的等を理解し、服薬時には見守り介助をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の趣味や気分転換になるもの等行える機会を設け、喜んでいただいております。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	四季折々の花見や近隣の散歩やドライブなど、まめに行く機会を設けています。	天気の良い日は近隣へ散歩に出かけ、地域住民と挨拶を交わしたり、買い物にでかけたりしている。 計画は立てず、地域のイベントがあるときに利用者に声かけをして一緒に外出している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者が希望するのであれば、職員が付き添い実際に手に取ってもらい好みの品物を購入できるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望すればご家族などに電話をしたり、年賀状のやり取りを行ったりしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	談話室に畳を敷き、それぞれが座れるようにソファを置いて居心地の良い空間づくりをしています。そこでテレビを観たり、おしゃべりしたりと入居者の憩いの場所になっています。	テラスがあり外気浴や気分転換が図れる。 廊下は壁に絵画や写真等が飾られ、程よい高さで設置された手摺があり、腰の低い利用者も使いやすい。 食堂は明るく家庭的な雰囲気、居間にはテレビやソファがありくつろぐことができ、利用者の趣味の作品（折り紙・手縫いの人形等）が掲示されている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人ソファの座る場所が決まっているので、のんびり過ごすことができ、食堂でも気の合う方と食事できるよう座席の位置も工夫しています。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が自宅で使っていたものを持ち込んでもらい、使い慣れた家具や雰囲気居心地よく過ごせるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	床をバリアフリーにして、廊下には手すりを取り付けて自立歩行ができるようにしています。	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 県西さわやか

作成日 平成 30年 5月 2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		年6回の運営推進会議を開催する	奇数月の開催をする	年間の会議予定を作成し自治体にも提出し、事業所は予定をもとに管理者が不在であっても職員が出席し開催する	1か月
2		身体拘束のマニュアルがなく研修も現状設けられていない	マニュアル作成と研修機会を設ける	安全対策委員会を設置し2か月に1回開催しヒヤリハットの内容をもとに会議を行い研修も委員会内で行う	2か月
3		第三者機関の苦情相談窓口が家族に周知されていない	家族への周知	家族に対し面会・利用料の支払い時等で来荘した際に自治体の受付窓口の存在を周知する	3か月
4		火災以外の想定避難訓練が出来ていない	地震想定避難訓練も行い、反省・課題点を残し備蓄品の一覧表も作成する	火災・地震想定避難訓練を実施し反省・課題点も記録に残し、備蓄品の一覧表も作成しそれをもとに管理する	6か月
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。